

宝物館

宝物館には、毛越寺に伝わる宝物が展示されています。宝物館の入り口には、毛越寺や中尊寺の開祖である円仁(794–864)の座像があります。

宝物館には、古文書や遺物、毛越寺の発掘にまつわる情報、毛越寺で奉納される長寿を祈る舞「延年の舞」で伝統的に使われていた衣装や装飾などが収蔵されています。所蔵されている平安時代(794–1185)の仏像のうちいくつかは、日本の国指定文化財です。

ほかにも、観自在王院跡で発見された14世紀の「鉄鑄宝篋印塔（鉄塔）」や、さらに、平泉を統治した藤原三代秀衡（1122–1187年）の邸宅にあったのではないかとされる2つの「鉄樹」など、貴重な品々が展示されています。この鉄樹は、日本刀の成立を語るうえで欠かせない鍛冶集団、舞草鍛冶(もくさかじ)によるものとされます。